

令和4年度通常総会を開催 事業計画・収支予算など7議案を承認



当組合は、2月24日(休)渋谷区立勤労福祉会館にて令和4年度通常総会を開催した。今年度はオミクロン株の感染急拡大により、昨年に引き続き、会場出席者を最小限とし「委任状」での出席も推奨した。出席者数は組合員数26名のうち20名(会場出席10名、有効委任状出席10名)であった。

北京オリンピックの興奮も冷めやらぬ中、東側では世界を激震させた許されぬ出来事がおきた、そんな2月24日、15時に総会が開催。冒頭、加勢充晴理事長が挨拶。初出席の根岸隆氏を紹介後、このような感染状況が続く、事務局体制も変わる不安な1年であったが、組合員の皆様の協力で何とかやっていったことに感謝の意と労いを述べられた。

事務局より、本日の出席状況の報告と総会の成立が告げられ、加勢充晴理事長が議長に就任し、次の各議案について審議したところ、満場異議なく原案通りに承認可決した。

第1号議案…令和3年度事業報告書及び決算関係書類承認の件、第2号議案…令和4年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件、第3号議案…令和4年度借入金残高の最高限度決定の件、第4号議案…手数料の最高限度決定の件、第5号議案…役員報酬決定の件、第6号議案…令和3年度総会議決事項の修正委任の件、第7号議案…役員選任の件に關して、議長は、理事竹嶋正實氏が令和3年4月30日

令和4年度 役員名簿			
役職	氏名	所属会社	
理事長	加勢 充晴	加勢造園(株)	
副理事長	和田 新也	箱根植木(株)	
副理事長	鈴木 義人	(株)柳島寿々喜園	
専務理事	瀬戸 隆史	員 外	
理事	卯之原 昇	(株)昭和造園	
理事	吉村 長泰	(株)吉村造園	
理事	田丸 敬三	東光園緑化(株)	
理事	奥本 寛	(株)日比谷アメニス	
理事	菊地 謙二	(株)桂 造 園	
理事	千田 拓雄	(株)多摩エコーナビス	
理事	成家 岳	(株)富士植木	
理事	細井 俊宏	(株)石勝エクステリア	
監事	岡野 正和	(株)岡野造園	
監事	高橋正之輔	アゴラ造園(株)	

計報 根岸造園
土木(株)代表取締役
役の根岸聖一氏
(70)はかねてより療養中のところ、令和4年1月14日、逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

第1号議案…令和3年度事業報告書及び決算関係書類承認の件、第2号議案…令和4年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件、第3号議案…令和4年度借入金残高の最高限度決定の件、第4号議案…手数料の最高限度決定の件、第5号議案…役員報酬決定の件、第6号議案…令和3年度総会議決事項の修正委任の件、第7号議案…役員選任の件に關して、議長は、理事竹嶋正實氏が令和3年4月30日

常日頃、組合活動にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症拡大の脅威がいまだに衰えず、本年もこのような状況で新年度を迎えることになりました。コロナの猛威は私達の身近なところまで及んでいます。

お一人お一人が十分注意して健康でお仕事に取り組んで下さい。

私たちの業界を取り巻く状況は、コロナに加えてロシア・ウクライナ問題による燃料、資材の高騰をはじめ、人材不足、働き方改革と様々な乗り越えなければならぬ課題があります。とりわけ人材不足は大きな問題です。働き方改革により他業界でも、それぞれの

取り組みが行われています。ゼネコンがつくる日本建設業連合会の発表では、「2022年3月までに施工現場で週休二日制に移行する」、「そんなの無理と言われた週休二日制に業界の命運をかけて取り組む」とありました。私たちも遅れをとらぬよう取り組む必要があります。

組合もいろいろな講習会、研修会を今年も予定しております。開催案内が届きましたら、是非積極的に参加して、業界全体が心を一つにしてこの現状を乗り越えていきたいと思います。

本年度も組合活動に対して変わらぬご理解、ご協力をお願い申し上げます。

就任あいさつ 東京都造園建設業協同組合 理事長 加勢 充晴



組合もいろいろな講習会、研修会を今年も予定しております。

令和3年度「第38回 全国都市緑化くまもとフェア」開催中!

現在、「第38回 全国都市緑化くまもとフェア」くまもと花とみどりの博覧会「THE GREEN VISION 未来への伝言」が熊本市内を中心に5月22日迄開催中です。

熊本でのフェアは、昭和61年の第4回開催以来36年ぶり2回目。今回は地下水に恵まれた熊本の水と緑の魅力の再発見と熊本地震からの復興のアピールとして、緑や水、歴史・文化を象徴する3つのエリアをメイン会場として開催します。

①街なかエリア・熊本城公園及び花畑広場一体

熊本主要バスターミナルの桜町バスターミナル前の花畑広場には、本フェアでフラワーアンバサダーを任命されたデンマーク出身の世界的フラワーアーティスト



ニコライ・バーグマン監修 大花壇 (街なかエリア)



巨大花のくまモン (街なかエリア)



花のトンネル (街なかエリア) ※3/19~21・5/21~22のみ



熊本市動植物園 大花壇 (水辺エリア)



「緑化フェア『みどりの広場』プラン賞」受賞作品



熊本県産の木材で作ったアスレチック遊具 (まち山エリア) ※フェア実行委員会HPより

トのニコライ・バーグマンさんが手がけた、サイネリアディアルローズ等熊本県産の花卉約7万株使用した約180mにも及ぶバーグマンさんの代名詞でもあるフラワーボックスと立体オブジェを組み合わせた洗練された大花壇は圧巻です。

大花壇の先には熊本地震の復興のシンボルである熊本城も見ることが出来ます。現地でも携わった方のお話では、開催に先立って試験施工などを行い、本来は土壌に入れて花壇を作ったもの、舗装の目詰まりが懸念材料となり、舗装の上にウレタンマットを敷き、その上にスリットの入ったポット苗を配置していく方法で行っていました。しかし、晴天時にはウレ

タンマットも乾いてしまい、ほぼ毎日散水をしなければならぬ苦労があり、開期後半には植え替えをして別のイメージの花壇を演出するそうです。

また、周辺の隣接する辛島公園には、県外自治体PR花壇があり、また西日本最大級の全長約1kmにも及ぶアーケード街には全国の自治体の特色を表した出展花壇「花と緑でブレイクタイム」が、10カ所以上設置され、それぞれの花壇には誰でも休息が出来るようにベンチなどが置かれ、名水で有名な熊本らしく、熊本の酒造組合の蔵元が、自社の4斗樽をプランターとして飾ったりもしていました。一番の人気はサンロード新市街入口に鎮座した「巨

大花のくまモン」です。本物の草花が使われる予定だったものの、試験施工時にアーケード下での生育が難しく、すべてフェイクグリーンでしたが、道行く人が代わる代わる記念撮影をしていました。

②水辺エリア・水前寺江津湖公園一帯(水前寺地区・広木園含む)

熊本の水の恵みを象徴する会場です。熊本市動植物園の植物園エリアがフェアを契機に35年ぶりの大改修が行われました。高低差を活かした広大な大花壇も大幅にリニューアルされ、会期の前半は赤や黄色の花を主体に活気みなぎる「火の国くまもと」をイメージする暖色系、後半には青色の花を中心とした湧水豊かなくまもとの美しい水」をイメージさせる青系へと変わる演出を熊本県産の約60種、約

9万株もの花苗によって作られる大花壇です。

他にも江津湖の豊かな自然環境を眺望できる総延長100mにも及ぶ、「展望デッキ」も新設されました。また、こちらの会場では企業団体出展庭園コンテスト、高校生出展庭園が展示され、(二社) 日本造園建設業協会主催の「第47回全国造園デザインコンクール」で高校生を対象とした「緑化フェア『みどりの広場』プラン賞」応募140作品から選ばれた熊本県立北稜高等学校・山下 瑞葵さんの作品が日造協会員とともに作庭、展示されています。

③まち山(立田山)エリア・立田山自然公園 お祭り広場エリア
市街地に残された貴重な自然緑地の標高152mの立田山。この会場には大きなエノキの木を生かした秘

密基地のようなツリーハウスや、熊本県産木材を使った木製遊具がリニューアルされ、滑り台や平均台、ボルダリングなど、さまざまなアスレチック遊具や風をきって滑るターザンロープをはじめ、流行のグランピング体験など大人から子供まで楽しむことができます。

また、立田山で採れた竹で作られた高さ約7mもある巨大ブランコやジャングルジム、迷路などが期間限定で楽しむことができ、小さなお子様も遊べる木のたまごプールなど木育おもちゃ広場もあります。



他にも熊本県内45の市町村がパートナー会場となつて、地域に合った演出がなされ、飛行場から市中心街への移動の間の車窓からの景色も街路樹や植え込みが素晴らしく綺麗にされているのには感動しました。

3つのメイン会場だけでも異なる演出で楽しめ、催事も盛りだくさん。皆さんもぜひ来場ください。

詳細「第38回全国都市緑化くまもとフェアホームページ」、公式ガイドブック(ホームページのサイト内検索で「ガイドブック」と入力) 参照

情報厚生委員長 田丸 敬三

間もなく開会！令和4年度 第39回全国都市緑化北海道フェア

令和4年度の「第39回全国都市緑化北海道フェア」（愛称：ガーデンフェスタ北海道2022）が、6月25日（土）7月24日（日）の1カ月の会期で「花と緑」恵みの庭を人がつながる北の大地から。」をメインテーマに市民主導による花のまちづくりが盛んな恵庭市を中心に開会します。

河川緑地と一体的に整備し、年間百万人を超える人が訪れる人気スポットの道の駅「道と川の駅「花ロードえにわ」や土日は1日で約2千人が訪れる農畜産物直売所「かのな」、子どもたちの遊び場「えにわファミリーガーデン」「りりあ」などを併設した複合施設です。

◆ 恵庭市は札幌市と新千歳空港のほぼ中間地で、1961年に地元の有志によって設立された「花いっぱい文化協会」をきっかけに住民主導の花のまちづくりが開始され、長年の取り組みにより、「花のまち・恵庭市」が市民に深く浸透し、現在は、至るところが花で飾られ、花と緑の美しいまちなっています。

◆ メイン会場の『花の拠点「はなふる」』は令和2年11月にオープン。「花のまち恵庭」の知名度を浸透させる「花の観光拠点の整備」として作られた場所です。

国道と一級河川漁川の交点に位置していることから

でもらいたいというコンセプトで作られたそうです。

他にも、中央芝生広場では色鮮やかなボーダーカラーの花壇が作られ、周囲の園路はハンギングバスケットやコンテナガーデンが彩ります。会場周辺を流れる漁川の岸辺には、市民参加型花壇や、昨年に恵庭市内の保育園・幼稚園・認定こども園の年長児約6百人がマリーゴールドやキンギョソウやアリッサムなどの花の種や肥料を入れた土のダンゴ「たねダンゴ」を作り、そのまま花壇に植え付けした「たねダンゴ花壇」が花で彩ります。

◆ 『花の拠点「はなふる」』のメインエリアとなる「ガーデンエリア」は、異なったコンセプト、①おいしさが実る庭「えこりん村キッチンガーデン」、②発見の庭「グラベルガーデン」、③みんなのいこいの花畑「暮らしを恵む庭」、④森の中の日常を楽しむ「ブレイグラウンド」、⑤楽しいピクニックとゆつくり本が読める「大きなカステラが焼けるお庭」、⑥四季の移ろいを楽しむ森のさんぽ道「ミチノモリ」、⑦花と風の丘「虹色の鳥」の7つのエリアから構成されています。

北海道を代表するガーデンがそれぞれ、花や樹木の美しさを鑑賞するだけでなく、遊びながら自然の豊かさや変化を身体で楽しん

品も展示される予定です。

◆ メイン会場最寄り駅の一つJR恵み野駅からの徒歩ルートは「まちなか会場」と位置付けられ、恵み野商店街等を散策しながら、ガーデンテーブル、ポケットパーク、オープンガーデン等を楽しめるストリートガーデンで演出されます。

◆ 他に、国営滝野すずらん丘陵公園、令和2年7月に開業したウポポイ（民族共生象徴空間）等道内各地の国営・道立公園、民間庭園の32カ所が「協賛会場」として連携予定。道内の市町村がすすめる花や緑の見どころ18カ所を「スポット会場」として、道内一帯を花と緑で演出するそうです。

◆ 観光立国を進める日本では花の公園や日本庭園が観光資源として注目され、平成31年（令和元年）に国土交通省は各地の庭園・公園・植物園等が連携して観光客の周遊を促し地域活性化を目指す「ガーデンツーリズム登録制度」（正式名称：庭園間交流連携促進計画登録制度）を創設し、第1回目の登録で北海道の代表的な美しい8つのガーデンが集

中している、大雪・富良野とフェア」都市緑化シンポジウム内において登録証が交付されるそうです。

◆ 現在、会場等は雪解けを待つ短期間での施工を道内業者が一体となって必死に作り上げているそうです。

また、恵庭市の「恵庭ガーデンツーリズム協議会」の計画「花と暮らす恵庭の花めぐり」が、新設された「探訪部門」（広域移動を伴わないマイクローツーリズム的な計画、「北海道ガーデン街道」は周遊部門）として登録され、4月27日に開催される

詳細「第39回全国都市緑化北海道フェアホームページ」、北海道ガーデン街道ホームページ「北海道情報厚生委員長 田丸 敬三

共同購買取扱商品のご案内

詳細は組合ホームページをご覧ください。

品揃え
拡大

新規
取扱

(株)谷沢製作所

保護帽

超軽量型ヘルメット
全高13.3cmのコンパクト設計。総重量365gとPC製ヘルメットでは驚異的な軽さ。通気性が一段とアップ。



ワイドシールド付ヘルメット



その他、空調風神など

(株)力王

地下たび



安全シューズ



ゴムたび



令和4年度 造園関連資格試験の日程

資格名	申込期間	学科試験日	実技試験日	問合せ・申込先
1・2級造園技能検定	4月4日(月)～4月15日(金)	8月21日(日)	未定	東京都職業能力開発協会
1級造園施工管理技術検定	5月6日(金)～5月20日(金)	9月4日(日)	12月4日(日)	(一財)全国建設研修センター
2級造園施工管理技術検定(前期)	3月2日(水)～3月16日(水)	6月5日(日)	11月20日(日)	(一財)全国建設研修センター
2級造園施工管理技術検定(後期)	7月12日(火)～7月26日(火)	11月20日(日)	11月20日(日)	(一財)全国建設研修センター
植栽基盤診断士補	5月9日(月)～5月20日(金)	6月2日(木)	6月3日(金)	(一社)日造協関東甲信総支部
植栽基盤診断士	8月中旬～8月末	9月18日(日)	11月～12月	(一社)日本造園建設業協会
街路樹剪定士	10月11日(火)～10月21日(金)	11月28日(月)	12月1日(木)・2日(金)	(一社)日造協東京都支部
登録造園基幹技能者	未定	2023年1月	—	(一社)日本造園建設業協会
樹木医	5月1日(日)～6月15日(水)	9月21日(水)～10月6日(木) 10月5日(水)～10月20日(木)	10月3日(月)～10月8日(土) 10月17日(月)～10月22日(土)	(一財)日本緑化センター
公園管理運営士	3月1日(火)～4月30日(土)	6月18日(土)	11月12日(土)・13日(日)	(一社)日本公園緑地協会
1級土木施工管理技術検定	3月17日(木)～3月31日(木)	7月3日(日)	10月2日(日)	(一財)全国建設研修センター
2級土木施工管理技術検定	7月6日(水)～7月20日(水)	10月23日(日)	令和5年2月1日(水)	(一財)全国建設研修センター
1・2級建設業経理士	5月17日(火)～6月16日(木)	9月11日(日)	—	(一財)建設業振興基金

令和4年度 研修会・講習会の開催予定

講習会名	申込期間	開催日	募集人員	研修会場
植栽基盤診断士補研修会(実技・学科)	5月9日(月)～5月20日(金)	6月2日(木)・3日(金)	70	埼玉建産連会館
農薬土壌・特殊緑化技術講習会	5月23日(月)～6月8日(水)	6月15日(水)・16日(木)	30	国立リハビリテーションセンター
造園技能検定受験対策講習会(実技)	5月31日(火)～6月17日(金)	7月8日(金)～10日(日)	20	都立園芸高校
1級造園施工管理技術受験対策講習会	6月30日(木)～7月21日(木)	7月28日(木)・29日(金)	30	国立リハビリテーションセンター
植栽基盤診断士学科準備講習会	7月20日(水)～8月18日(木)	8月25日(木)	40	健保会館
2級造園施工管理技術受験対策講習会	8月16日(火)～9月7日(水)	9月14日(水)・15日(木)	35	健保会館
公園・緑地樹木管理士研修会	未定	未定	-	オンライン開催
街路樹剪定士資格更新研修会	未定	オンライン開催	-	-
街路樹剪定士受験対策講習会	未定	11月29日(火)	10	多摩NT落合地区歩行者専用道路
街路樹剪定士認定研修会・実技試験	10月11日(火)～21日(金)	11/28(月)・12/1(木)・2(金)	85	健保会館・多摩NT

○お問合せ・お申込みは、当組合事務局(TEL:03-3496-2611)まで

今年度の「資格試験」及び「研修会・講習会」はウイルス感染状況に伴い、延期または中止する場合がございます。詳細はホームページ等でご確認ください。

農薬土壌・特殊緑化技術講習会を受講して

私は昨年、新入社員として造園業に携わることになりました。当時は造園の基本も何も分からないまま本講習会を受講しましたが、実際に屋内の緑地空間の管理で、おそろく排水が不十分のため起きた根腐れで、樹木が枯れてしまっている現場を目にしました。そのような例からも、地上部の植栽地に比べ施工管理において留意すべき点が数多くあることを学びました。

特に都市のような雑多な環境の中にある緑の効果は大きく、私自身も癒されたりします。それを実現するにはやはり技術が必要です。そのような緑地空間の需要が高まれば、特殊緑化技術は今後さらに求められるようになります。

私はお客様はもちろん、特殊な環境下に置かれる植物のためにも、自然と建築物の構造とを上手く活かしながら心地の良い緑地空間を目指したいと思っています。今の仕事の中で農薬・土壌や特殊緑化への理解を深めるとともに、今抱えている初心を忘れないように努めていきたいです。

山藤 琴淑(箱根植木)



1級造園施工管理受験対策講習会を受講して

受験対策講習会では、押さえておくべきポイントやキーワードを分かりやすく解説して頂けるので、テキスト(技術編・法規編)の要点を抑えることができました。また、過去に出題された問題が、どの細目から選ばれているのかが一目で分かる表を頂き、私は頂いた表に、理解したらチェックをするなど、勉強を進めていくための指標として使いました。

講習会後の勉強方法としては、まず学んだ内容をまとめる作業をして、本屋さんで問題集を購入しました。問題集

を解きながら、頂いた内容をテキストを見返し内容を理解する。といった勉強を行っておりました。休日は、近所を散歩しながら、ぶつぶつ呪文のように講習会でまとめた要点を唱えて歩いていました。今思えば、かなり怪しい人だったかと思っています。

今回、試験を通して、造園という仕事の改めての確認と、理解を深められたことで、今後の仕事への向き合い方を考えさせられ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

澤畑 ほなみ(株岩城)

編集後記

若葉の緑が色鮮やかな季節となりました。今年度も無事「組合だより」126号を発行出来ました。

今年は編集長という大役を仰せつかり、どうなることやらと不安で一杯でしたがこうして皆様のお手元に届けることが出来てほっと一安心です。

新型コロナウイルスの感染拡大も収まらない中、編集や原稿執筆にご協力いただきました方々には心から感謝いたします。

また、感染拡大の波が大きくなったり収まったりを繰り返す中、こうして講習会やイベントが開催出来たありがたみをひしひしと感じております。

私事です。以前、前事務局長が倒れた際に一人でパニックになっていたら、周りの方々が手を差し伸べて下さり難局を乗り越えられたことがありました。

その時は、私は本当に周りの方々に恵まれているなという事をひしひしと感じておりましたが、今回も周りの方々にご助力いただき、その当時の事を思い出しました。

忘れかけていた周りの方々へ対する感謝の気持ちを思い出させて下さった、現事務局長にも感謝です。

事務局体制が変わって早いもので一年、これからも二人三脚で頑張っております。

鈴木美穂子(東京都造園建設業協同組合事務局)